

2024年度 新潟大学佐渡自然共生科学センター 学生発表会

2025/3/2 (日) 9:00~11:40

会場：トキ交流会館大ホール (〒952-0103 佐渡市新穂潟上 1101-1)

新潟大学佐渡自然共生科学センターの3領域(森林/里山/海洋)に所属する学生たちの研究発表会を開催します。発表はポスター形式です。ぜひご参加ください。申し込みは不要です。

<プログラム>

9:00 開会の挨拶

9:10~9:50 ポスターコアタイム 1：海洋領域の研究発表

- P1: 佐渡島沿岸の浅海域における小型底生生物相の解明 (長谷川蓮)
- P2: 佐渡島の河川におけるエビ類の分布と生息環境 (小早川莉穂)
- P3: ウミシダにおける間充織細胞の発生および分化の分子機構の解明 (長部有沙)
- P4: ニッポンウミシダにおける光受容関連遺伝子の探索と発現解析 (坂田美樹)
- P5: 佐渡島におけるアカシマコブウミシダの共生生物相の解明 (飛田峻馬)
- P6: 日本近海産 *Anneissia* 属ウミシダ類の分類再検討 (堀井紘大)
- P7: Seasonal changes of plankton communities on Sado Island, Central Part of the Sea of Japan (Parvez Chowdhury)

9:50~10:00 休憩

10:00~10:40 ポスターコアタイム 2：里山領域と森林領域の研究発表

- P8: 佐渡島の天然生スギ林の現存量と成長 (佐藤嶺花)
- P9: 佐渡島に生息するモリアオガエル成体の移動ルートと生息環境の解明 (深井こるり)
- P10: 環境 DNA の起源としての花粉・植物遺体の時空間的散布パターン (宮崎悠聡)
- P11: ブナ科常緑樹における萌芽と潜伏芽の関係 (酒井省吾)
- P12: 湧水性農業水路におけるトミヨ属淡水型 *Pungitius sinensis* をシンボルとした魚類の生息環境に関する研究 (佐藤有純)
- P13: ウミネコ *Larus crassirostris* が選好する水田環境とその利用パターン (清稜太)
- P14: 食えないほど大きく成長した被食者に対する捕食者の非消費型効果 (漆原理心)

10:40~10:50 休憩

10:50~11:30 ポスターコアタイム 3：森林領域の研究発表

- P15: 島嶼性ツリガネニンジンの訪花昆虫相を規定する要因について (熱方悠人)
- P16: 佐渡島における広葉樹林施業の可能性 (重野皓汰)
- P17: 佐渡島大倉川における流程に沿った堆積リターと底生動物相の季節変動 (河崎健太郎)
- P18: 佐渡島におけるカタクリの形態及び遺伝的分化について (多田民生)
- P19: 佐渡島と本土間におけるクロサンショウウオの系統地理解析 (渡辺晃史)

P20: 佐渡島と本土間における植物の比較：ツクバネソウの外部形態の解析（相原美彩）

P21: 都市環境と人間の認知的反応がヘビ類の形態に与える影響とその要因（小林幸平）

P22: クリ（*Castanea crenata*）の萌芽発生に潜伏芽数と伐採時期が与える影響（石原奏）

11:30 閉会の挨拶